

『BL 小説におけるゲイキャラクターの変化—中国女性のジェンダー意識の動きと関連して—』

YU Siyue

本研究は、中国における BL 小説のゲイキャラクターの描写およびカップリングパターンの変化を通じて、BL 文化が中国女性のジェンダー意識の変容にどのように関連しているかを明らかにすることを目的とする。研究では、クィア理論とデジタル・フェミニズム理論を理論的枠組みとして採用し、KH Coder と AGSS データセットによる計量テキスト分析を行い、中国最大のオンライン文学プラットフォームである晋江文学城に掲載された BL 小説を分析した。

まず、BL 文化の発展背景を日本と中国の双方から概観した。日本では 1970 年代から BL 文化が独自の進化を遂げ、「少年愛」「やおい」「BL」という段階を経て発展してきた。一方、中国では 1990 年代後半から日本の BL 文化が導入され、2000 年代以降、インターネットの普及とともに急速に拡大した。特に晋江文学城は 2003 年の設立以来、BL 小説の創作と読者交流の中心地となり、現在では中国最大の女性向け文学プラットフォームとして広く認知されている。

次に、BL 文化に関する先行研究をレビューし、本研究の独自性を明らかにした。これまでの研究では、BL 小説が女性読者にとって男性中心社会におけるジェンダー規範への挑戦や、フェミニズム的な実践として機能していると指摘されてきた。一方で、BL 小説の中で描かれる男性キャラクターの性別役割やカップリングの変化に関する定量的な分析は十分に行われておらず、特に中国における BL 文化の独自性を掘り下げる研究が求められている。

本研究の分析対象は、2003 年から 2024 年までに晋江文学城に掲載された BL 小説であり、各時期の作品を 5 冊選定した。分析手法としては、KH Coder を用いて小説テキストを定量的に分析し、攻めと受けのキャラクターに関連する形容詞を抽出する。そして AGSS データセットを基準として形容詞を「男性的」と「女性的」分類し、攻めと受けのキャラクター描写におけるジェンダー表現の分布を可視化し、比較する。

分析の結果、以下の特徴が明らかになった。

①ジェンダー表現の変化と固定化: BL 小説における攻めと受けのキャラクター描写は、2003 年から 2024 年の約 20 年間で一定の変化を遂げた。初期段階では典型的な「強い攻め・弱い

受け」のパターンが主流であり、攻めには男性的な特徴(冷酷、高身長)、受けには女性的な特徴(可憐、柔弱)が強調されていた。

第二段階と第三段階では、一時的に性別二元対立を超越する傾向が見られた。特に攻めキャラクターにおいて、男性的な形容詞と女性的な形容詞の使用頻度が比較的均衡し、受けキャラクターも「冷静な」「堅実」といった男性的特徴を示した。しかし、第四段階になると、攻めと受けの外見および性格描写は再び「攻めが男性化」「受けが女性化」の構図に回帰し、従来の「強い攻め・弱い受け」パターンが再生産されていることが分かった。

②ジェンダー・パフォーマティビティと規範の再生産: バトラーのジェンダー・パフォーマティビティ理論を用いて分析した結果、BL 小説における攻めと受けのジェンダー特性は、繰り返し使用される形容詞を通じて言語的に構築され、テキスト内で「自然」であるかのように見せかけられていることが明らかになった。例えば、「攻め」の「冷静」「横暴」といった形容詞は、伝統的な男性性を強調し、「受け」の「柔軟」「可憐」といった形容詞は従属性を強調している。このような言語的構築は、ジェンダー規範を再生産する役割を果たしている。

③消費文化と商業化の影響: BL 小説の商業化が進む中で、攻めと受けのジェンダー上限は読者の消費慣習に影響され、定型化されたパターンに収束する傾向が見られた。例えば、「強い攻め・弱い受け」は読者の美的欲求に応えると同時に、経済的成功を確保するための市場戦略としても機能している。このような状況は、デジタル・フェミニズムが提唱するジェンダー規範への挑戦が、商業的要因によって制約を受けていることを示唆している。

本研究は、中国 BL 小説におけるキャラクター描写の変化を通じて、BL 文化が伝統的なジェンダー規範に挑戦しつつも、それを再構築する側面を持つことを明らかにした。一時的にジェンダー表現の多様性が示されたものの、商業化された消費文化や社会的規範の影響により、「強い攻め・弱い受け」というパターンが依然として支配的であることが確認された。また、デジタル・フェミニズムの視点から、BL 小説は女性読者に新たなジェンダー観を模索する空間を提供し、ジェンダー規範への批判的視座を示している。一方で、消費文化の市場論理は、BL 小説のジェンダー表現を伝統的な枠組みに引き戻す圧力として機能している。

本研究の結果は、BL 文化がジェンダー規範の挑戦と再生産という二面性を持つことを示す。今後の研究では、読者層のニーズが小説の叙述やキャラクター設計にどのように影響を与えているのか、さらには読者がそれぞれ好むキャラクターの全体像を解明した上で、中国 BL 小説の発展と BL 文化のダイナミズムについて、より深い理解が得られると期待される。